



ユニセフパークプロジェクト 2005 国際キャンプ 結果概要

(防災世界子ども会議 in ひょうご オープニングイベント)

■日時 2005年3月25日(金)～26日(土)1泊2日 (防災会議は～28日(月))

■場所 『活動』: 国営明石海峡公園神戸地区 『宿泊』: 神戸市しあわせの村



主催: 国土交通省近畿地方整備局 ユニセフパークプロジェクトファシリテーターグループ 他

協力: 財団法人日本ユニセフ協会 後援: 兵庫県、神戸市

協賛: 近畿コカ・コーラボトリング(株)

■参加者

『子ども』 合計: 60名

性別 男: 20名 女: 40名

年齢 10歳～18歳(小学生: 10名 中学生: 23名 高校生: 27名)

参加国 日本: 30名(兵庫: 25名 大阪: 2名 その他: 3名(名古屋・高知))

エジプト: 2名、アメリカ: 4名、台湾: 4名、スロバキア: 2名、イラン: 6名、

アルメニア: 2名、アルゼンチン: 2名、セネガル: 2名、ロシア: 2名、ネパール: 2名、

インドネシア: 2名

『ファシリテーター(ボランティア)』 合計: 51名

性別 男: 19名 女: 32名(学生: 36名 社会人・主婦等: 15名)

年齢 14歳～70歳(ジュニアファシリテーターを含む)

住所 兵庫: 32名 大阪: 13名 その他: 5名(京都、奈良、群馬等)

『3/25(金):1日目』くもり時々雪

午前: 海外、日本の参加者が集まり、班で里山を探険した。時折雪のちらつく中、探険の途中にネイチャービンゴや仲良くなるゲームを織り交ぜながら、日本独自の里山について感じ、勉強した。昼食は「あいな茶屋」の方々が里山で採れる食材を使っておいしいご飯を作ってくださいました。

午後: ユニセフのケンマスカル氏から今回のテーマである「あったかい場所」についての説明を受けた後、みんなで「あったかい場所」づくりを始めた。わらべイルや竹、端材などを使いながら、みんなで心と体があったかくなるような場所を自分たちで考えながら作って行った。どうやってつくればいいかわからない時はファシリテーターが便利屋さんとなって子どもたちの活動を補助した。

夜: 参加者が揃っての開会式となった。まずは仲良くなるゲームをやり、その後2班合同で、明日遊び場をどう作るか考える班、明日のビデオをどう撮るか考える班、遊び場の看板づくりを行う班にわかれて作業した。

『3/26(土):2日目』晴れ

午前: 昨日の作業の続きで「あったかい場所」を完成させていった。2班合同でそれぞれの遊び場をつなげていった。昼食は「野草くらぶ」さんが里山で採れる野草を天ぷらにして振る舞ってくれた。

午後: ビデオ撮影の準備が出来た班から随時撮影を行っていった。ユニセフのクリス氏がカメラを持ち、子どもたちにアドバイスをしながら撮影を進めた。すべての班の撮影が終了した時点で、班で自分達のがつかった遊び場でそれぞれ感想を述べ合う振り返りを行った。

夕方: 場所をコープこうべに移しユニセフ兵庫県支部主催の「ユニセフの集い」に参加し、午後に撮影したビデオを使って一般参加者の前で発表した。



里山探検



遊び場づくり



明日の戦略会議



あったかい場所での昼食



「ユニセフのつどい」での発表

参考資料

ユニセフパークプロジェクト 2005 国際キャンプ

防災世界子ども会議 2005 in ひょうご オープニングイベント～自然からの癒し、学び～

実施概要

■背景

2005年3月に、阪神、淡路大震災10周年記念事業として、世界の子どもたちが参加する「防災世界子ども会議2005 in ひょうご」が開催される。

そこで今回、ユニセフパークプロジェクトは、阪神、淡路大震災10周年記念事業「防災世界子ども会議2005 in ひょうご」のオープニングイベントとして、世界の子どもたちが、実際の公園づくりを通じて「自然からの癒し、学び」を得ることができるような「国際キャンプ」を実施する。

■期間

「防災世界子ども会議 2005 in ひょうご」

平成17年3月25日(金)～28日(月) 4日間

「オープニングイベント：ユニセフパークプロジェクト 2005 国際キャンプ」

平成17年3月25日(金)～26日(土) 2日間

日程	25日(金)	26日(土)	27日(日)	28日(月)
	オープニングイベント (UPP2005 国際キャンプ)		分科会、本会議	
内容	自然からの癒し、学びを得る		発表準備、本会議、宣言発表	

※前半の2日間(3/25-3/26)オープニングイベントにおける企画・調整・準備・実施は、ユニセフパークプロジェクト側で行う。

■参加者(子ども)

総数60名

- ・海外の子ども：30名(アテンドの大人：17名)
- ・日本の子ども：30名(うち5名はUPP登録者。残りは防災PJ関係者)

参加国：12ヶ国

- ・日本 ・イラン ・台湾 ・ロシア ・米国 ・アルメニア ・セネガル
- ・アルゼンチン ・エジプト ・ネパール ・スロバキア ・シェラレオネ

対象年齢：10～18歳(小学生、中学生、高校生)

＜1日目(25日)＞

	9:00	10:00	12:00	14:00	17:00	19:00	22:00
参加者 集合		里山にあいさつ 里山を知り 仲良くなる	昼食	遊び場づくりⅠ あったかい場所をつくり 始める。	風呂 夕食	開会式	就寝
	国営明石海峡公園神戸地区				しあわせの村		

＜2日目(26日)＞

	6:30	10:00	12:00	13:00	16:00	20:30	22:00
起床 朝食		遊び場づくりⅡ 隣の班と つなげていく。	昼食	遊び場で遊ぶ (ビデオ撮)	ユニセフ のつどい	風呂 休憩	就寝
	国営明石海峡公園神戸地区				コープこうべ	しあわせの村	



「里山にあいさつ(探検)」



「遊び場をつくる・遊ぶ」

＜防災会議とのつながり＞

○遊び場づくり(オープニングイベント)のテーマ:「あったかい場所」

・みんなの「身体」と「心」があたたかくなるような場所をつくる。

キーワード

「自然との共生」 「人と人との関わり」 「世界との連携」 「子ども参画の重要性」

○本会議：大震災の教訓を未来へ 命の尊さを考えよう！

「防災(震災の経験や教訓)」 「命の尊さ」 「共生の大切さ」

参考資料

■オープニングイベントのスケジュール :平成 17 年3月 25 日(金)~26 日(土)

3月24日(木)

時間	プログラム	内容	場所
	海外の子どもの入国	空港でUPPファシリテーターが出迎え。 ※JEARNの担当者が入国確認を行い、それ以降は、UPPで責任を持つ。 ※飛行機の到着にあわせて、時間をずらして、2台のバスでしあわせの村に向かう。 しあわせの村での受け入れプログラム。	関西国際空港 ~ 神戸市 しあわせの村

3月25日(金):1日目

時間	プログラム	内容	場所
7:30	国内参加者 三ノ宮集合	国内からの参加者を受付。バスでしあわせの村へ。	三ノ宮駅
8:30	国内参加者 しあわせの村集合	三ノ宮集合、海外参加者と合流し現地へ向かう。	神戸市 しあわせの村
6:30	海外参加者 起床	起床後、身支度をする。	神戸市 しあわせの村
7:00	海外参加者 朝のつどい	軽い体操をする。	
7:30	海外参加者 朝食		
9:00	参加者全体集合	参加者がそろい、現地へ移動。 ※遠方の参加者は、以降随時合流とする。	
10:00	里山にあいさつ	・趣旨説明(UPPファシリテーターより) ・仲良くなる ・里山を探検 ・道具を覚える ・材料を取る ※地元熟練者のサポートを検討	国営明石海峡公園 神戸地区
12:00	昼食・休憩	※地元の食材を検討	
14:00	遊び場をつくる	テーマ:『あったかい場所』 班に分かれて、自分たちの遊び場を作っていく。 ※地元の炭・わらのペイルを検討	
16:00	移動	しあわせの村へ。	
17:00	風呂・夕食		しあわせの村

* 防災会議: 岡本実行委員長
* 国営明石海峡公園: 松本所長
* (財)日本ユニセフ協会専務理事

時間	プログラム	内容	場所
19:00	開会式 (オリエンテーション)	あいさつ 仲間づくりのアクティビティ 作戦会議	神戸市 しあわせの村 ホール
22:00	就寝		

3月26日(土):2日目

時間	プログラム	内容	場所
6:30	起床・朝のつどい	軽い体操をする。	神戸市 しあわせの村
8:00	朝食		
9:00	移動	国営明石海峡公園神戸地区へ。	国営明石海峡公園 神戸地区
10:00	遊び場をつくる	前日に引き続き、遊び場を作る。	
12:00	昼食・休憩	※地元の食材を検討	
13:00	遊び場で遊ぶ	作った遊び場で遊ぶ。 他の班の遊び場を見る。 発表のためのビデオ撮影。	
15:00	移動		コープこうべ 生活文化センター
16:00	ユニセフのつどい	交流会 立食形式で軽食 作った遊び場の発表。 ビデオで各班10分程度。 ※来賓のコメント	
19:30	移動	しあわせの村へ。	
20:30	風呂・休憩		神戸市 しあわせの村
	ふりかえり	会議へとつなげていく内容に。	
22:00	就寝		

アグネス氏
ビデオレター
(5分程度)

* 兵庫県知事
* 神戸市長
* ユニセフ(国連本部)職員
* (財)日本ユニセフ協会専務理事
* 近畿整備局長副局長

「ユニセフのつどい」は、(財)日本ユニセフ協会兵庫県支部の定例イベントであり、その場を借りて「遊び場発表会」を実施する。つどいには、一般の人々(100名程度)も参加する。

宿泊場所となる「神戸市しあわせの村」では、防災会議期間中(4日間)、一般を対象にした展示会を開催する。ユニセフ、UPP、防災会議による様々な展示を行う予定。

3月27日(日): 3日目は、10:00より防災会議のプログラムを開始する。